

資源物の店頭回収状況

資源循環推進課

1 調査方法

県内にスーパー等が所在する小売事業者（34事業者）に対し、店頭での資源物回収状況調査を実施した。
 (調査期間：令和2年7月15日～7月29日)

2 回答事業者数

13事業者（うち実績有は9事業者（最大84店舗分））

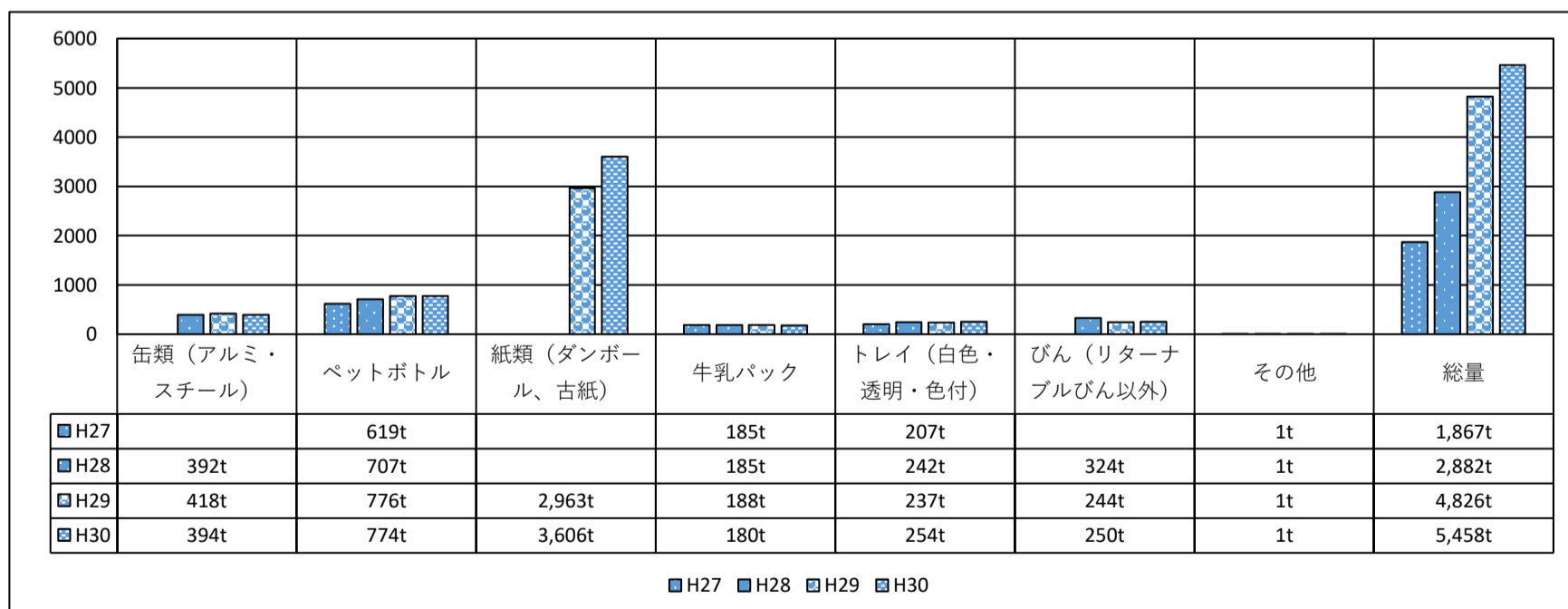
3 実績（回収店舗数、回収量）

	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
	回収店舗数	回収量	回収店舗数	回収量	回収店舗数	回収量	回収店舗数	回収量
缶類（アルミ・スチール）	48	344t	79	392t	79	418t	78	394t
1店舗当たり回収量		7t		5t		5t		5t
ペットボトル	75	619t	79	707t	79	776t	78	774t
1店舗当たり回収量		8t		9t		10t		10t
紙類（ダンボール、古紙）	3	460t	6	1,031t	32	2,963t	33	3,606t
1店舗当たり回収量		153t		172t		66t		80t
牛乳パック	53	185t	57	185t	57	188t	56	180t
1店舗当たり回収量		3t		3t		3t		3t
トレイ（白色・透明・色付）	80	207t	84	242t	84	237t	83	254t
1店舗当たり回収量		3t		3t		3t		3t
びん（リターナブルびん以外）	3	51t	33	324t	31	244t	31	250t
1店舗当たり回収量		17t		10t		8t		8t
その他（レジ袋）	5	1t	5	1t	5	1t	5	1t
1店舗当たり回収量		0t		0t		0t		0t
総量	(参考)	1,867t	(参考)	2,882t		4,826t		5,458t

※事業者によって実績データを把握していない年度があるため、H27、H28年度は参考値。

※H30年度の回収量は、全県のリサイクル量の約4.3%。

4 総量の推移



5 考察

- ・ペットボトル及び紙類（ダンボール、古紙）の回収量が増加傾向にある。
- ・缶類（アルミ・スチール）、牛乳パック、トレイ（白色・透明・色付）は横ばいで推移。
- ・びん（リターナブルびん以外）は減少傾向にある。
- ・近年、回収店舗数は増加傾向にあり、住民のリサイクル機会の増加につながっていると思慮。